



# 株主通信

vol.30 | 2017年3月期 第2四半期  
2016.4.1~2016.9.30



# INSIGHT & INFORMATION



株式会社 ニチダイ

NICHIDAI CORPORATION

証券コード 6467



上半期の業績は、  
売上高は予定どおりに推移しましたが、  
利益面で計画を大きく下回りました。

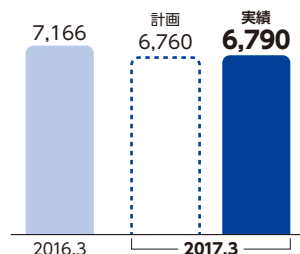
## 上半期まとめ

- 1 ネットシェイプ事業の金型部門が不振でしたが、アッセンブリ事業が計画を上回った結果、連結売上高はほぼ予定どおりとなりました。
- 2 ネットシェイプ事業の金型部門の売上高減少に加え、急激な為替変動に伴う為替差損を計上したこともあり、利益面では計画を大きく下回る結果となりました。
- 3 下半期は、ネットシェイプ事業の金型部門で回復が見込まれるものの、当初計画までは届かないため、業績予想を下方修正しました。

## 第2四半期累計の業績(連結) \* 百万円未満は切り捨て

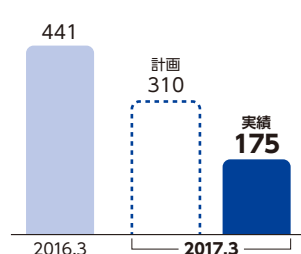
売上高 (百万円)

前期比**5.3%減** ▼



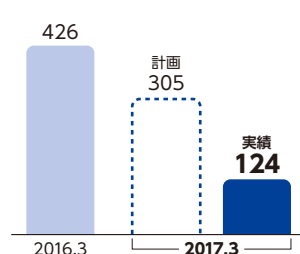
営業利益 (百万円)

前期比**60.2%減** ▼



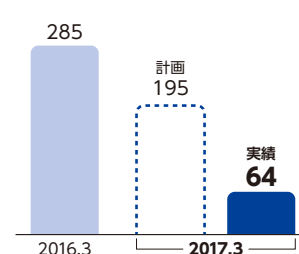
経常利益 (百万円)

前期比**70.7%減** ▼



親会社株主に帰属する  
四半期純利益 (百万円)

前期比**77.3%減** ▼



【見通しに関する注意事項】 当報告書の記載内容のうち、歴史的事実ではないものは将来に関する見通しおよび計画に基づいた将来予測です。これらの将来予測には、リスクや不確定な要素などの要因が含まれており、実際の成果や業績などは記載の見通しとは異なる場合がございます。

Q 上半期のニチダイをとりまく経営環境と業績について教えてください。

## A 自動車産業の業況が地域により異なるなか、ネットシェイプ事業の金型部門が苦戦しました。

2017年3月期第2四半期累計期間(2016年4月1日～2016年9月30日。以下、上半期)における、当社の主要顧客業界である日系自動車産業では、熊本地震による工場被災や英国のEU離脱宣言に端を発する先行き懸念の増大など、経営環境に重大な影響を及ぼす出来事が相次いで起こりました。こうした状況のなか、海外市場では米国や中国などが好調に推移したものの、ASEAN市場は低調に終わり、国内市場でも主に軽自動車の販売が減少しました。また、為替レートが急激に円高に振れるなど、経済状況は大きく変動しています。

こうした外部環境の影響を受けて、ネットシェイプ事業の金型部門で売上高が減少しました。一方でアセンブリ事業が計画を上回る売上高となったことから、連結売上高に関しては、ほぼ計画どおりの結果となっています。しかしながら、利益面では、

ネットシェイプ事業の不振に加えて、急激な為替変動に伴う為替差損を計上したことや、各事業の製品ミックスの変化により利益率が低下したこともあり、計画を大きく下回る結果となりました。

こうした状況を受けて、上半期の業績は、売上高67億9千万円(前年同期比5.3%減)、営業利益1億7千5百万円(前年同期比60.2%減)、経常利益1億2千4百万円(前年同期比70.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益6千4百万円(前年同期比77.3%減)と減収減益となりました。

Q 下半期の状況について教えてください。

## A 今後の動向予測および上半期の業績を考慮し、利益面で通期業績予想を下方修正しています。

ネットシェイプ事業については、金型部門において第2四半期より国内向けの販売が回復基調に転じており、下半期は上半期以上の売上高を見込めるものの、通期では当初計画には届かない水準に終わると予想しています。

### 通期の見通し

(百万円)

	2016.3		2017.3		伸び率
	実績	当初計画 (16年5月発表)	通期予想 (16年10月発表)		
売上高	14,264	14,000	14,000	△1.9%	
営業利益	828	885	570	△31.2%	
経常利益	766	870	500	△34.7%	
親会社株主に帰属する当期純利益	485	575	325	△33.1%	

\* 百万円未満は切り捨て

### 事業別売上高の通期の見通し

(百万円)

	2016.3		2017.3		伸び率
	実績	当初計画 (16年5月発表)	通期予想 (16年10月発表)		
ネットシェイプ事業	7,307	7,100	6,800	△6.9%	
アセンブリ事業	4,882	4,900	5,300	8.5%	
フィルタ事業	2,074	2,000	1,900	△8.4%	
連結計	14,264	14,000	14,000	△1.9%	

\* 百万円未満は切り捨て

# 社長メッセージ

アッセンブリ事業については、下半期は海外生産の回復による収益の増加を見込んでいます。

フィルタ事業では、海外子会社THAI SINTERED MESH CO., LTD. で生産している石油掘削用フィルターが、上半期に引き続き低迷すると予想しています。

これら各事業の今後の予想と上半期の業績を勘案した結果、10月25日に通期業績予想の修正を発表しました。売上高140億円は当初予想を据え置くものの、営業利益5億7千万円(前年同期比31.2%減)、経常利益5億円(前年同期比34.7%減)、親会社株主に帰属する当期純利益3億2千5百万円(前年同期比33.1%減)にそれぞれ修正しています。

**Q** 中期経営戦略の進捗状況について教えてください。

## **A** 新規導入した研究開発用プレス機が、本格稼動に入ります。

当社グループでは「新規事業の立ち上げ～量産事業の拡大」を中期経営戦略のテーマの一つに掲げ、新規部品の開発に取り

組むなど、研究開発活動を強化してきました。今期は、その一環として研究開発用プレス機を刷新し、活動をより強力に推進するための体制を整えました。今回導入した最新鋭プレス機を活用して、量産製品の開発促進を図るとともに、精密鍛造型の受託開発などの受注活動強化にも注力していきます。(詳細は、P.9トピックスをご覧ください。)

また、フィルタ事業においては、かねてより開発を進めている二輪車用メタルメッシュ触媒フィルターについて、展示会に出展するなど各メーカーに対する営業活動を強化しています。

当初に報告したとおり、今年度は、当社にとって設立50周年となる記念すべき年です。また50周年を機に、執行役員を新たに5人選任するなど、新体制でスタートした初年度にあたります。

当社の主要顧客業界となる自動車産業においては、パワーtrainの電動化シフトや自動運転の本格化など新たな動きが加速しており、業界再編の動きも活発化しています。当社グループでは、こうした顧客動向の変化に的確に対応し、機動力ある新体制の下で、新製品開発や生産効率向上に向けた新たな施策を適時打ち出していく予定です。今後も、中期経営戦略の進捗や内容については、随時報告してまいります。

## 中期経営戦略 当期の進捗

### 戦略 1 海外展開の強化

- ネットシェイプ事業** 金型部門におけるアジア地域への拡販
- ネットシェイプ事業** NICHIDAI (THAILAND) LTD. におけるスクロール鍛造品の生産は前年同様の水準で推移

### 戦略 3 QDC改善による製品競争力の強化

- アッセンブリ事業** たな卸資産削減等、資産効率性向上を目指した施策の実行

### 戦略 2 新規事業の立ち上げ～量産事業の拡大

- ネットシェイプ事業** 中空工法、ローター部品(厚板成形)等、次世代自動車を念頭に置いた技術開発を推進
- フィルタ事業** 触媒を用いた二輪車用排ガスフィルターのユーザー開拓

### 戦略 4 自動車産業以外の領域拡大

- フィルタ事業** 大型海水ストレーナーの生産増



Q 期末の配当について教えてください。

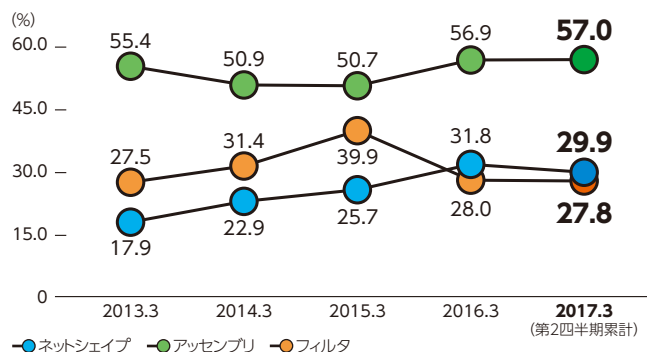
**A 中間期10円、期末10円の  
年間20円を予定しています。**

当社は、株主の皆さまへの利益還元を経営の重要政策と位置づけ、将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当の継続を基本方針としています。そのため、経營業績の動向や配当性向などの諸指標も考慮しながら、配当額を決めています。

今年度は、当社設立50周年を迎える年でもあり、当初予想どおり、中間配当を10円とし、期末配当についても10円を予定しています。これにより、年間配当金は、前年度と同額の合計20円となる予定です。

上半期は、自動車産業の景況に大きな影響を及ぼす出来事が、相次いで発生するとともに、急激な為替変動も起こるなど、経営環境が大きく変わってきました。また、自動車産業における技術開発動向についても、これまでとは次元の異なる新たな

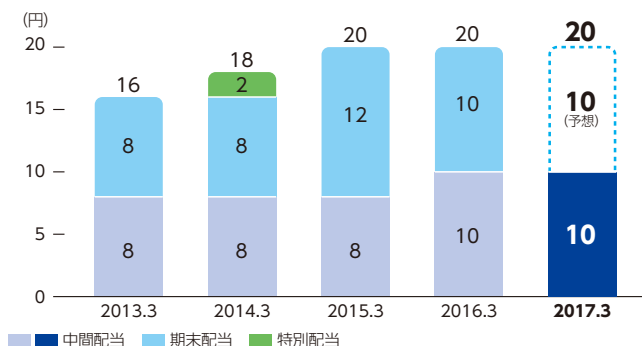
### 事業別海外売上高比率



局面へと進みつつあります。

当社は今後も、こうしたマクロトレンドの変化を的確に捉える一方で、足元を着実に固め、各々の事業活動を推進していきます。株主の皆さまには、当社グループの現況をご理解賜りますとともに、今後の発展にご期待いただきますようお願い申し上げます。

### 1株当たり配当金



# ニチダイグループの事業と業績

## 事業概要

### ネットシェイプ事業

#### 金型

- 金型生産・開発から部品製造までのトータルエンジニアリングを提案・提供

#### 精密鍛造品

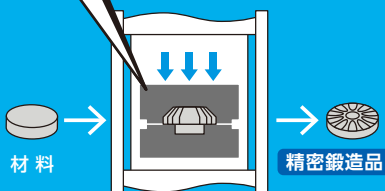
- 金型技術を活かした付加価値の高い部品の提供

## 事業内容

### ネットシェイプ用の精密鍛造金型を設計・製造

#### 金型

切削・加熱することなく  
一発で複雑な形状に加工



部品メーカー(顧客)が精密鍛造金型を使って  
自動車用部品を生産(一部当社でも生産)

#### エンジン関連部品



#### 駆動関連部品



高精度

高強度

省資源

#### トランスミッション 関連部品



#### カーエアコン用スクロール部品 (精密鍛造品部門における主力製品)



## 顧客

### 主に自動車産業

#### 金型

国内の  
全自動車メーカー  
系列企業

海外の自動車部品  
メーカーとの  
取引も増加

#### 精密鍛造品

自動車  
部品メーカー

### アセンブリ事業

- ディーゼルエンジン車、ガソリンエンジン車用ターボチャージャー部品の組み立て

### ターボチャージャー部品を組み立て

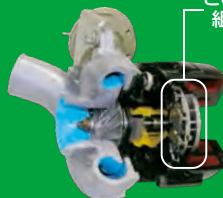
国内およびタイ工場で組み立て、  
顧客企業の現地調達ニーズに対応



### 納入先メーカーでターボチャージャーの一部に組み込まれる

納入先メーカーで

この部分を  
組み立て



VGターボチャージャー

排ガス  
削減

燃費  
改善

### 自動車産業

全世界の  
自動車メーカー

### フィルタ事業

- 何枚ものステンレス金網を一体構造化した積層焼結フィルターの生産
- フィルターの洗浄・再生サービス

### 独自の拡散接合技術を使って産業用フィルターを製造



### 顧客メーカーの用途に応じて各種フィルター形状に加工



液体ろ過フィルター



ポリマーろ過フィルター

リサイクル  
可能

高強度



ガスろ過フィルター



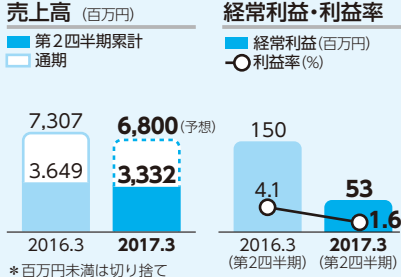
オイルろ過フィルター

### 各種メーカー

石油、ガス、化学、  
繊維、食品、  
航空宇宙産業 など



業績



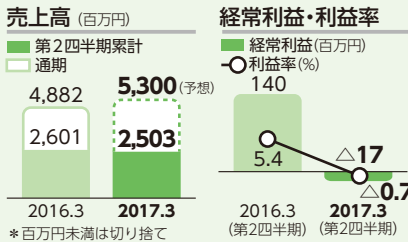
上半期の概況

金型部門は、第2四半期から国内市場が回復してきたものの、海外市場では東南アジア向けが不調となるなど、全体的には低調に推移しました。精密鍛造品部門は、国内生産においてスクロール鍛造品が減少しました。その結果、売上高は、33億3千2百万円(前年同期比8.7%減)となりました。利益面では、金型の売上高減少と為替差損を計上したこともあり、5千3百万円(前年同期比64.2%減)と大幅減益になりました。

通期の見通し

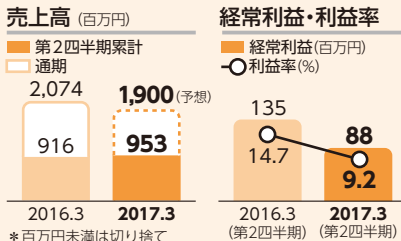
金型部門では、第2四半期からの流れを受けて、下半期は国内外での需要回復を見込んでいますが、当初計画までには到達しない見通しです。精密鍛造品部門については、下半期も上半期と同じ水準で推移するものと予測され、通期ではほぼ計画どおりの売上高を見込んでいます。その結果、当初計画の71億円から68億円(前年同期比6.9%減)に通期売上高計画を修正しています。

ネットシェイプ事業の今後の取り組みについてはP.7特集をご覧ください。



国内外ともに、ガソリンエンジン車向けターボチャージャー部品の売上高が増加する一方で、VGターボチャージャー部品の売上高が減少する傾向となったため、全体的には低調に推移しました。その結果、売上高は25億3百万円(前年同期比3.8%減)と前年を下回りました。利益面においては、VGターボチャージャー部品の売上高減少や為替差損計上などが影響し、経常損失1千7百万円となりました。

下半期については、ガソリンエンジン車向けのターボチャージャー部品の引き続き堅調を維持することに加えて、VGターボチャージャー部品も海外向けの売上高増加と、これに伴う海外生産の回復も予想されることから、収益回復を見込んでいます。これにより通期の売上高計画については、当初計画の49億円を超える53億円(前年同期比8.5%増)に上方修正しています。



子会社のTHAI SINTERED MESH CO., LTD. で生産する石油掘削用フィルターが低調に推移したものの、大型海水ストレーナーの増加などがあり、売上高は9億5千3百万円(前年同期比4.1%増)となりました。一方、経常利益については、製品ミックスの影響により経常利益8千8百万円(前年同期比34.8%減)となりました。

国内売上高については、船舶バラスト水規制管理条約の平成29年9月発効を追い風要因として、大型海水ストレーナーの堅調が引き続き見込まれます。一方で海外売上高では、石油掘削用フィルターが上半期に引き続いて下半期も低調に推移することが見込まれることから、通期の売上高は当初計画の20億円にわずかに届かない19億円(前年同期比8.4%減)を予想しています。

## 特集

ニチダイグループが  
成長して  
いくために

各部門の取り組み

## Vol.① ネットシェイプ事業編

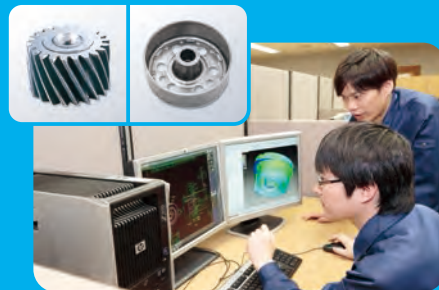
# 新型プレス機による開発力の強化

ニチダイグループが展開する「ネットシェイプ」、「アッセンブリ」、「フィルタ」の3事業。グループが今後成長していくための重要な施策や計画を、現場の声を織り交ぜながら事業別にシリーズ初回はグループにおけるコア技術を持つ、ネットシェイプ事業の今後の取り組みをご紹介します

### 取り組み① 新規事業立ち上げと技術開発の推進

ネットシェイプ事業では、精密鍛造金型の生産販売だけでなく、製品開発、部品量産まで手がけるトータルエンジニアリングサービスを提供しています。現在の中期経営戦略では、このトータルエンジニアリングサービスを提供するなかで培った

技術開発力を活用し、精密鍛造金型の新領域の拡大や、中空部品、厚板鍛造品などの新規量産品の開発とそれに伴う新事業の立ち上げをテーマとして掲げています。今回の新規プレス機の導入は、この中期経営戦略推進の一環として進められたものです。



### 設備投資 新型研究開発用プレス機を導入 さらなる開発力の強化を図る

顧客の製品開発支援、自社研究開発強化を目的に1988年宇治田原工場建築時に研究開発用プレス機を導入し、トータルエンジニアリングサービスを強化してきましたが、高度化、複雑化する精密鍛造へのニーズの変化に対応するため、複動5軸プレス機を後継機として導入。この投資により、トータルエンジニアリングサービスを再強化し市場領域の拡大を目指していきます。

#### 1988年導入 プレス機 [HED800]

開発から量産までトータルエンジニアリングサービスの礎に



#### 2016年導入 プレス機 [NFD1000]

より高度化、複雑化する精密鍛造のニーズに対応



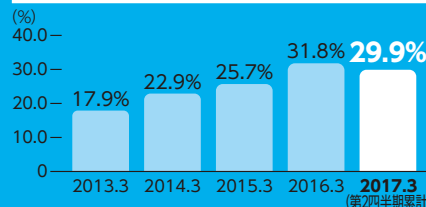
新型プレス機「NFD1000」の詳細はP.9トピックスをご覧ください。

### 取り組み② 海外展開の強化

ネットシェイプ事業では、顧客業界のグローバル化が進んでいるなか、海外戦略を強力に進めています。アジア地域を中心とした精密鍛造金型の海外ユーザーへの拡販のほか、戦略拠点である海外子会社 NICHIDAI (THAILAND) LTD. において、

2012年にスクロール鍛造品、2013年に精密鍛造金型の生産を開始するなど生産拠点の拡充も行ってきました。今後も自動車産業の海外生産が増加することが予想されるなか、海外売上高比率をさらに高めていくことを目指します。

#### 海外売上高比率





# とアジア地域の需要拡大を目指す

シリーズ連載していきます。  
します。

## ネットシェイプ事業で活躍するエキスパート達

### 営業部門

営業本部 下岡 健二

#### 新鍛造方法確立のため 市場調査に力を入れる



私は、当社の精密金型と鍛造設計に関する技術力を活かす提案営業に力を入れています。現状の課題は、顧客ニーズを深掘りし、新型プレス機による新鍛造工法開発につなげることです。そこで情報共有のためのITツールを使って営業所間で顧客情報の共有を推進し、受注成功事例に加えて失敗事例も共有するなど、新たなビジネスモデルの確立に注力しています。海外ではタイ工場を拠点に、ASEANやインドへの対応強化に努めます。

### 製造部門

生産本部 姫野 文明

#### CS向上実現に向けた チーム体制を構築する

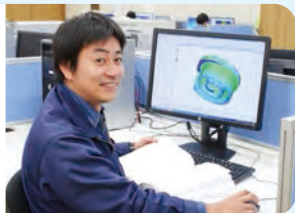


私は課長補佐として、自らが品質に責任を持つ自工程完結活動や生産性向上のための分析・監視・改善活動に取り組んでいます。顧客満足度を高めるためには、QDC (Q:クオリティ、D:デリバリー、C:コスト)の改善が欠かせません。そのカギとなるのが「次工程がお客さまである」と考えるモノ作りです。これを実現するため既成の考え方に囚われることなく、製造力、想像力、改善力をフルに活かすチーム作り力を入れています。

### 開発部門

技術・開発本部 中山 省二

#### 工程設計をシステム化し 海外での設計を推進する



私は現在、CAE (Computer Aided Engineering) を用いた、工程設計の検証システム「ナビゲーションシステム」の開発に携わっています。これが海外事業所で稼働すれば、経験の少ない現地スタッフだけでも国内と同レベルの工程設計ができるようになります。さらに、新型プレス機の複動成形機能を活用した当社独自の新成形技術開発による新たな量産品生産の早期立ち上げにも取り組んでいます。

### 設計部門

技術・開発本部 財前 由美子

#### ニーズを的確に把握し 設計期間短縮に努める



私の主要業務は、工程設計から部品図展開までの作図と、若手の指導・育成です。また、金型設計から試作までの短納期化に対応するため、顧客の要求事項を迅速かつ正確に把握する体制整備に取り組んでいます。一方で、自動車部品の海外生産比率が高まり、海外での試作立ち会いに対応できる若手技術者の育成も重要な課題です。仕事に前向きに取り組めるよう、設計の喜びを若手に伝えることも心がけています。

2016年12月稼働予定 ネットシェイプ事業

## 複動5軸油圧プレス機「NFD1000」導入

### 高精度

サーボモーター直結ポンプによる位置・荷重精度の向上。3分割独立スライドによる偏荷重対応。

### 柔軟性

幅広い圧力、位置制御、成形速度に対応するシステム。革新的な鍛造工法開発を支援。

### 効率化

3工程による試作の効率化を実現。開発時のデータ収集により、量産時の立ち上げを支援。

1988年に導入したプレス機「HED800」の後継機として、新型プレス機「NFD1000」を導入しました。「NFD」は「NICHIDAI（ニチダイ）」「Forging（鍛造）/Future（未来）」「Dream（夢）」の頭文字からとっており、「ニチダイの鍛造技術が社会の未来と夢を

支える」といった意味が込められています。1,000トンの加圧が可能となることに加え、軸数が3軸から5軸に増加したことにより、制御できる範囲が広くなりました。今後もより一層、中空成形部品や厚板鍛造の工程短縮などの開発に注力していきます。

2016年10月 フィルタ事業

## 関西機械要素技術展に出展

10月5～7日にインテックス大阪で開催された第19回関西機械要素技術展に、当社のグループ会社であるニチダイフィルタ株式会社が出展しました。機械要素技術展は、軸受、ねじ、ばねなどの機械要素や、金属、樹脂に関する加工技術を一堂に集めた専門技術展であり、毎年開催されています。

昨年の展示会に引き続き、二輪車用排ガス触媒への搭載を想定して開発を進めている「MM（メタルメッシュ）触媒」を展示しました。MM触媒とは、ニチダイフィルタの

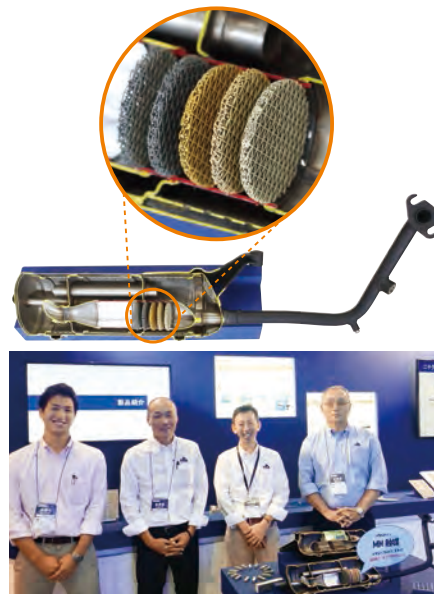
コア技術である焼結金網の素材に新たなノウハウを加え、触媒物質を担持\*させたものです。従来の触媒よりガス流との接触効率が高く、反応に必要な触媒体積を削減することからコンパクト化が可能となっており、多くの注目を集めました。

展示会には3日間で約48,000人と昨年を大きく上回る来場者があり、3回目の出展となる当社ブースにおいても、大勢の方にお立ち寄りいただき、盛況のうちに終えることができました。

\* 触媒作用を持つ貴金属をアルミナと一緒に塗付し、焼きつけ触媒化すること。

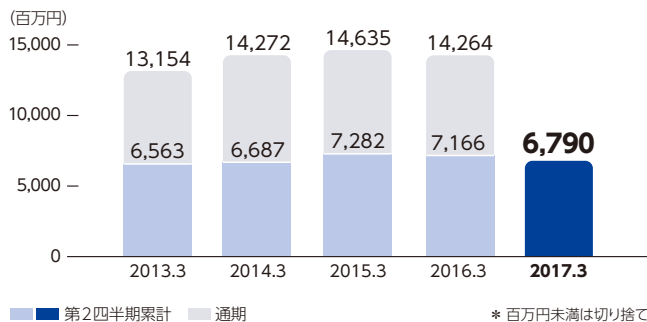


複動5軸油圧プレス機「NFD1000」

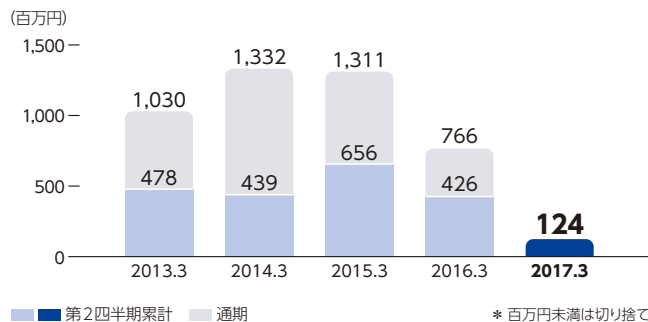


MM（メタルメッシュ）触媒の展示

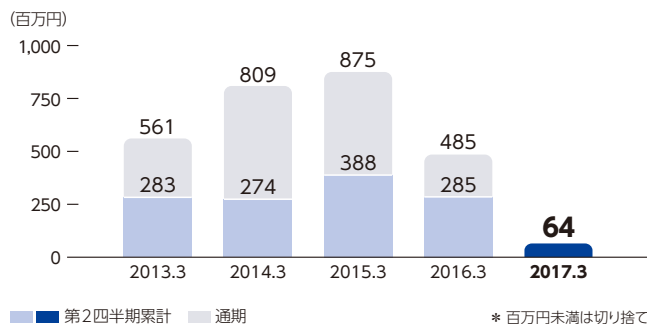
## 売上高(第2四半期累計)



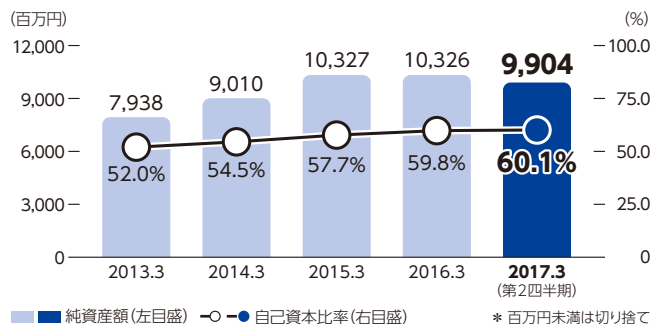
## 経常利益(第2四半期累計)



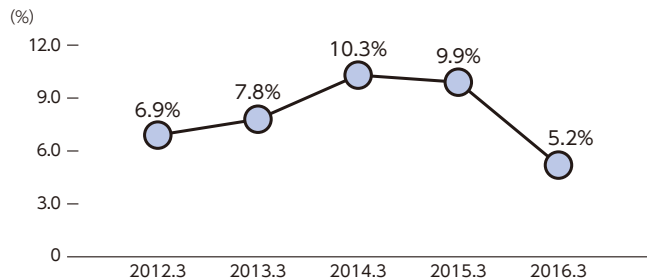
## 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益(第2四半期累計)



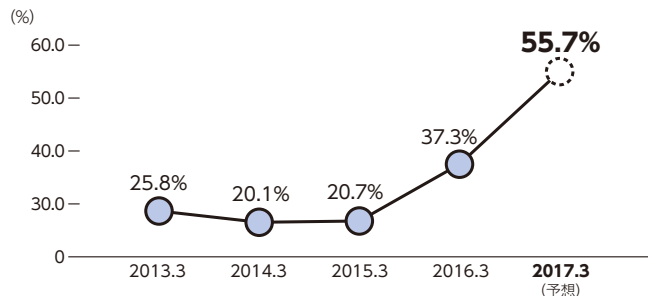
## 純資産額／自己資本比率



## ROE(自己資本利益率)



## 配当性向(連結)



# 主要連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

資産の部 科目	前第2四半期 連結会計期間末 2015年 9月30日現在	当第2四半期 連結会計期間末 2016年 9月30日現在	前連結会計 年度末 2016年 3月31日現在
(資産の部)			
流動資産			
現金及び預金	2,023	2,487	2,073
受取手形及び売掛金	3,511	3,477	3,798
① たな卸資産	2,649	2,204	2,523
その他	197	134	138
貸倒引当金	△ 1	△ 1	△ 1
流動資産合計	8,380	8,302	8,532
固定資産			
有形固定資産	7,202	6,475	6,844
無形固定資産	103	127	95
投資その他の資産	222	208	252
固定資産合計	7,528	6,811	7,192
資産合計	15,908	15,113	15,725

\* 百万円未満は切り捨て

### Check Point

- ① アssenブリ事業の在庫が減少しました。
- ② 為替変動の影響を受けています。

(単位:百万円)

負債及び純資産の部 科目	前第2四半期 連結会計期間末 2015年 9月30日現在	当第2四半期 連結会計期間末 2016年 9月30日現在	前連結会計 年度末 2016年 3月31日現在
(負債の部)			
流動負債			
買掛金	1,344	1,290	1,318
短期借入金	1,655	1,503	1,575
未払法人税等	106	62	71
賞与引当金	275	277	147
その他	649	679	876
流動負債合計	4,029	3,813	3,988
固定負債			
長期借入金	857	1,007	935
退職給付に係る負債	—	105	120
その他	455	282	354
固定負債合計	1,313	1,395	1,410
負債合計	5,343	5,208	5,399
(純資産の部)			
資本金	1,429	1,429	1,429
資本剰余金	1,192	1,192	1,192
利益剰余金	6,572	6,656	6,681
② 為替換算調整勘定	421	△ 80	227
その他	△ 12	△ 119	△ 133
非支配株主持分	961	825	927
純資産合計	10,565	9,904	10,326
負債純資産合計	15,908	15,113	15,725

\* 百万円未満は切り捨て



## 連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期 連結累計期間 2015年4月1日から 2015年9月30日まで	当第2四半期 連結累計期間 2016年4月1日から 2016年9月30日まで	前連結会計 年度 2015年4月1日から 2016年3月31日まで
売上高	7,166	6,790	14,264
<b>3</b> 売上原価	5,693	5,595	11,341
売上総利益	1,473	1,194	2,923
<b>3</b> 販売費及び一般管理費	1,031	1,019	2,094
営業利益	441	175	828
営業外収益	24	29	33
<b>4</b> 営業外費用	39	79	95
経常利益	426	124	766
特別利益	3	4	3
特別損失	2	8	29
税金等調整前四半期 (当期)純利益	427	120	740
法人税、住民税及び 事業税	110	62	174
法人税等調整額	△ 32	△ 18	△ 23
四半期(当期)純利益	349	76	589
非支配株主に帰属する 四半期(当期)純利益	63	11	103
<b>親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益</b>	<b>285</b>	<b>64</b>	<b>485</b>

\* 百万円未満は切り捨て

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期 連結累計期間 2015年4月1日から 2015年9月30日まで	当第2四半期 連結累計期間 2016年4月1日から 2016年9月30日まで	前連結会計 年度 2015年4月1日から 2016年3月31日まで
<b>5</b> 営業活動による キャッシュ・フロー	585	1,015	1,074
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 479	△ 325	△ 692
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 506	△ 157	△ 664
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 1	△ 117	△ 69
現金及び現金同等物の 増減額(△減少額)	△ 400	415	△ 351
現金及び現金同等物の 期首残高	2,316	1,964	2,316
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	1,915	2,379	1,964

\* 百万円未満は切り捨て

## Check Point

**3** 減価償却の方法を定率法から定額法に変更しました。  
当第2四半期累計期間の影響額は58百万円です。

**4** 為替差損  
前第2四半期連結累計期間 14百万円  
当第2四半期連結累計期間 59百万円

**5** たな卸資産の増減額  
前第2四半期連結累計期間 △94百万円  
当第2四半期連結累計期間 253百万円  
仕入債務の増減額  
前第2四半期連結累計期間 △277百万円  
当第2四半期連結累計期間 37百万円

## 国内の主要な事業所

(2016年9月30日現在)

### 本社

京都府京田辺市薪北町田13

### 京田辺工場

京都府京田辺市薪北町田13

### 宇治田原工場

京都府綴喜郡宇治田原町禪定寺塩谷14

### 熊谷営業所

埼玉県熊谷市桜木町2-88

### 浜松営業所

浜松市中区高丘西3-12-3 1階

### 名古屋営業所

名古屋市名東区高社2-127 1F

### 京都営業所

京都府綴喜郡宇治田原町禪定寺塩谷14

### 岡山営業所

岡山市北区辰巳22-103 TCKビル

### 熊本営業所

熊本市東区長嶺南1-1-7



本社



京田辺工場



宇治田原工場

## 関連会社

(2016年9月30日現在)

### ① ニチダイフィルタ株式会社

京都府綴喜郡宇治田原町禪定寺塩谷14

### ② NICHIDAI (THAILAND) LTD.

Amata Nakorn Industrial Estate Phase 8. 700/882 Moo 5, Tb. Nhongkakha Ap. Phanthong Chonburi 20160 Thailand

### ③ THAI SINTERED MESH CO., LTD.

Saha Group Industrial Park, 99/8 Moo 5, Tambol Pasak, Amphur Muang Lamphun 51000 Thailand

### ④ NICHIDAI U.S.A. CORPORATION

15630 E State Route 12 Unit 4, Findlay, OH, 45840-9743, USA

### ⑤ NICHIDAI ASIA CO., LTD.

Amata Nakorn Industrial Estate Phase 8. 700/882 Moo 5, Tb. Nhongkakha Ap. Phanthong Chonburi 20160 Thailand

● ネットシェイプ事業 ● アッセンブリ事業 ● フィルタ事業



## 会社概要

(2016年9月30日現在)

社名 (英文表記)	株式会社ニチダイ NICHIDAI CORPORATION
証券コード	6467
本社所在地	京都府京田辺市薪北町田13
創業年月日	1959年5月5日
設立年月日	1967年5月1日
資本金	14億2,992万円
従業員数	367名(単独) 664名(連結)

## 役員

(2016年9月30日現在)

代表取締役社長執行役員	古屋 元伸	
取締役執行役員	瀬川 秀実	ネットシエイブ事業統括本部長 NICHIDAI ASIA CO., LTD. 社長 NICHIDAI U.S.A. CORPORATION 社長
取締役執行役員	辻 寛和	管理統括本部長、経営企画室長
取締役	岡 廣次郎	監査等委員(常勤)
社外取締役	西野 吉隆	監査等委員
社外取締役	真田 尚美	監査等委員

## 当社ホームページのご紹介

ニチダイへの理解を深めていただくために、ホームページをご活用ください。



<http://www.nichidai.jp/>

## 株式の状況

(2016年9月30日現在)

発行可能株式総数	15,500,000株
発行済株式の総数	9,053,300株
単元株式数	100株
株主数	2,831名

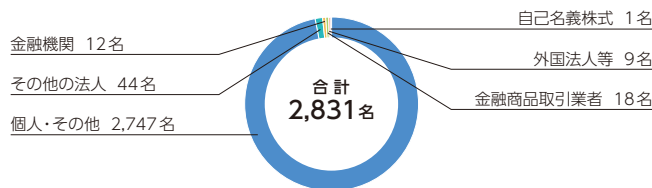
## 大株主

(2016年9月30日現在)

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
有限会社ジャスト	885,600	9.78%
ニチダイ従業員持株会	502,344	5.54%
田中克尚	497,688	5.49%
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	371,800	4.10%
中棹知子	282,600	3.12%
古屋啓子	272,600	3.01%
京都中央信用金庫	220,000	2.43%
株式会社三菱東京UFJ銀行	217,600	2.40%
木村文彦	211,600	2.33%
大阪中小企業投資育成株式会社	174,000	1.92%

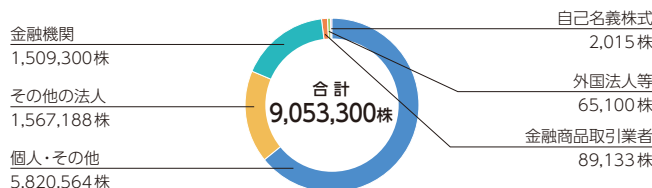
## 所有者別分布

(2016年9月30日現在)



## 所有者別株式数分布

(2016年9月30日現在)



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	期末 3月31日 中間 9月30日
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL.0120-094-777 (通話料無料)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店
公告方法	電子公告 当社ホームページ( <a href="http://www.nichidai.jp/">http://www.nichidai.jp/</a> ) にて掲載
単元株式数	100株

## ご注意

- 株主さまの住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

## アンケートのお願い

当社では、株主の皆さまのご満足を追求し、今後も業績情報の開示の充実に努めてまいります。この株主通信に対するご感想、ご意見をお寄せください。つきましては同封のアンケートハガキにご記入、ご投函いただけますようお願いいたします。

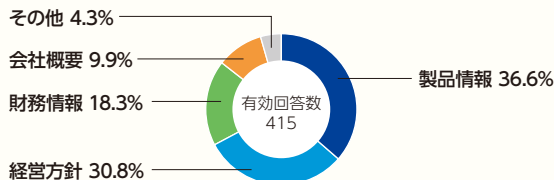
今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

## 株主さま向けアンケート結果のお知らせ

2016年6月に発行した株主通信(Vol.29)で実施したアンケートに対して、多くの株主さまからご回答、ご意見をいただきました。心から御礼申し上げます。お寄せいただきました貴重なご回答、ご意見は今後の事業活動、IR活動の参考にさせていただきます。

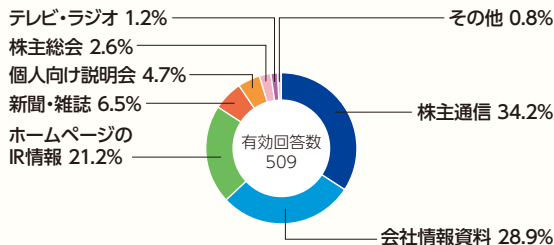
下記に、アンケート結果のうち、いくつかをご紹介します。

## 当社についてもっと知りたい情報



前回に続き、株主通信を通じて知りたい情報で最も多かったのは「製品情報」でした。研究開発状況や技術に関するご質問もいただいております。

## 当社の充実すべきIR活動



充実すべきIR活動のトップは「株主通信」でした。ホームページや会社情報資料をよく見るという方も増えているようです。今後も積極的な情報発信に取り組んでまいります。

## その他のご意見

- 色使いがよく、丁寧に説明されているので、読みやすい。表紙の社員一同の写真は親近感もてた。
- 海外事業展開を進めていくことは、会社の成長に大きく影響してくると思う。
- 財務面での安定を希望します。厳しい状況でも、配当は実施して欲しい。



株式会社 ニチダイ

NICHIDAI CORPORATION

本社 TEL.(0774) 62-3481 (代)